

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年3月30日

BMJニュース：WHOはタバコ産業とつながりのあるカナダの企業が開発した
植物ベースの新型コロナワクチンを拒否

【松崎雑感】

WHOは戦争産業とタバコ産業とつながりを持つ活動を拒否することを原則としています。

タバコ産業が大株主となっているカナダの企業が開発した新型コロナワクチンにWHOがお墨付きを出さない（必須医薬品新リストに加えない）ことにしました。この根拠は日本も批准したタバコ規制枠組み条約と言う国際条約に基づいています。

戦争であれ、タバコであれ、人の命を奪うことを生業としている企業に対して「ノー！」と言いましょ！

松崎道幸 道北勤医協旭川北医院 matsuzak@maple.ocn.ne.jp

BMJニュース：WHOはタバコ産業とつながりのあるカナダの企業が開発した植物ベースの新型コロナウイルスワクチンを拒否

Dyer O. Covid-19: WHO set to reject Canadian plant based vaccine because of links with tobacco industry. **BMJ**. 2022 Mar 28;376:o811. doi: 10.1136/bmj.o811. PMID: 35346968.

WHOは、カナダで承認された植物ベースのコロナウイルスワクチンを、タバコ産業が主要な株主となっている企業が開発したことを理由として、WHOの緊急使用承認リストに入れることを拒否する意向であることが明らかにされた。

マルボロの製造企業であるフィリップモリス・インターナショナルの子会社、**フィリップモリス・インベストメント**は、ケベックのワクチンメーカー**Medicago**社の株の3分の1を保有している。

Medicago社の開発したワクチンCovifenzは、植物蛋白から合成されたウイルス様粒子を用いており、カナダ保健省の承認を2月24日に受けた。

カナダ国民の多くはワクチンを接種済みであるため、カナダ政府は、Covifenzによって本年中に低所得国に出荷すると誓約した2億回分のワクチンの大半を賄う方針だった。

これは、Covid-19 Vaccines Global Access (Covax : 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のワクチンを、複数国で共同購入し、公平に分配するための国際的な枠組み)メカニズムを通じて配布されるはずだった。

しかし、CovaxはWHOのリストに掲載されていないワクチンは取り扱わないことになっている。

WHOの医薬品ワクチンアクセス事務局長補佐マリアンジェラ・シマオ氏は「このワクチンのメーカーがフィリップモリスと資金的つながりがあるため、Covaxプロセスを保留としている。

WHOと国連は、タバコ産業及び兵器産業とのつながりを拒否するという厳格な方針を持っている。したがって、このワクチンが緊急薬品リストに掲載されることは認められないだろう」と語っている。

カナダ政府は、この企業に1億7300万カナダドル（1カナダドル≒97円）を投資し、国民に2回接種を行なう予定である。

しかしこのワクチンを受ける人々は少ないだろう。カナダ政府は、mRNAワクチン接種に懸念を持っている人々に、このワクチンを接種したい意向である。

カナダ政府のスポークスマンは、本誌BMJに次のように語った。

「カナダ保健省は、各国の政府にCovifenzのレビューをおくり、それぞれの国で使用承認をもらい、数か月以内に輸出できるよう、働きかけを続ける方針だ。カナダ政府は、Medicago社に対するタバコ産業の投資問題を検討した結果、FCTCの規定に反しないという見解をまとめた。FCTCは締約国に、タバコ産業の商業的利益から人々の健康を推進する政策を守ることを義務付けているが、カナダ政府がワクチン開発と調達のためにMedicago社と共同作業をすることは禁止されていない」

Covifenzは、ニコチアナ・ベンタミアーナという葉たばこの近縁の植物を原料として製造される。この植物は植物ウイルス学の研究にしばしば用いられてきた。第Ⅲ相トライアルの結果は、ピアレビュー誌に掲載されていないが、デルタ株に対して71%（58.7～80.0%）の有効率を示すとされている[1]。

カナダ以外に承認された国はない。現在アメリカとイギリスに承認申請中である。Covifenzのほかに、米国ノババックス社のNuvaxovidがカナダから海外に出荷される予定となっている。

カナダは5600万人分のワクチンを発注しているが、モントリオールの施設の準備が整っていないため、インドでの製造に頼っている。カナダ政府は2億人分を今年中に出荷したいと考えている。

本誌は、スポークスマンにMedicago社の資本関係を、WHOの方針に合うように組みなおすつもりはあるかどうか尋ねた。

その回答は次のようなものである。

「WHOとの正式な話し合いを行い、今回の決定の理由を尋ね、今後どのような対策が可能かを弊社の経営陣および株主と検討する予定だ」